

## Warm Blue IIZUKA 実行委員会

<b>対象者</b>	自閉症を含む発達障がいのある子どもから大人に関わる保護者や支援者
<b>活動内容</b>	<p>Warm Blue IIZUKA は、発達障がいの当事者や保護者、支援者や地域住民により構成されている団体です。                  主な活動は、下記の通りです。</p> <p>①発達障がいの啓発活動                  ②支援者・教育関係者が学べる機会の提供                  ③医療・教育・福祉の支援者が繋がる環境を整えること</p> <p>誰も「排除しない」「排除されない」まぜこぜの地域社会を目指して当団体を立ち上げました。障がいを個性のひとつとして捉え地域全体でこの個性を活かせる教育環境・職場環境を整えていけるよう、様々なイベントなどを通じて、障がいの有無に関わらず誰もが過ごしやすい街 IIZUKA を目指していくことを当団体のビジョンとしています。</p> <p>2019年より4月2～7日 世界自閉症啓発デー及び発達障がい啓発週間に飯塚市役所をテーマカラーであるブルーにライトアップして発達障がいへの理解や関心を深めるイベントを実施しています。</p>
<b>問い合わせ</b>	<p>▶実行委員長：相本(あいもと) ゆかり                  ▶電話番号：090-9651-7376 ▶E-mail：minnanoiizuka@gmail.com                  ★一緒に活動してくれるメンバーを募集しております。ご興味のある方は、お気軽にお問合せ下さい。</p>

## Nっ子ネットワーク カンガルーの親子

<b>対象者</b>	早産や病気などの理由で小さく生まれたお子さんをお持ちのご家族 さまざまな理由でお子さんが NICU(新生児集中治療室)に入院中、または卒業されたご家族
<b>活動内容</b>	<p>カンガルーの親子のモットーは「お母さんの元気と笑顔が、子どもたちの一番の栄養!」です。不安な毎日だと思いますが、ひとりで悩まないでいろんな人と話をして情報交換をしませんか? きっと子育てに役立つ知恵と勇気が湧いてきますよ。NICU 卒業生のご家族だけでなく、NICU にお子さんが入院中のご家族の方も、お気軽にご参加ください。仲間同士のサポート(ピアサポート)を目的として活動しています。困ったことや相談事など会の SNS などを使い交流したり、後輩ママたちの力になったり、いろいろな形で支え合いながら、子育てしていきましょね。</p> <p>■主な活動…傾聴講座、家族交流会、写真展「手のひらに伝わる命の輝き」、出張おしゃべりサロン(北九州、柳川、博多)、文集・カンガルー通信の発行、啓蒙・講演会活動など</p> <p>※各活動の開催日や会場など下記のホームページなどでご確認ください。</p>
<b>問い合わせ</b>	<p>▶代表者名：登山 万佐子(とやま まさこ)                  ▶E-mail：kangaroo2007oyako@gmail.com                  ▶ホームページ：http://n-kan-oyako.moo.jp                  X(旧 Twitter)・facebook・Instagarm で最新情報をチェックできます。</p>

## 飯塚市手をつなぐ親の会

<b>対象者</b>	飯塚市在住の知的障がい児(者)と保護者、家族の方 活動に応援・協力・賛同していただける方(賛助会員、ボランティア)										
<b>活動内容</b>	<p>飯塚市手をつなぐ親の会は、飯塚市に在住する知的障がい児者とその保護者及び家族の会です。在宅、通所、入所、グループホームにかかわらず、どなたでも入会できます。現在の会員数は、正会員(含保護者、家族)、賛助会員を合わせ120名です。私たち「手をつなぐ親の会」は、飯塚市、市社会福祉協議会等の助成金と会員の方の自助努力、さらに地域住民の協力と互助関係によって運営しています。知的障がい児者が「一人の人間」として幸せな生活、最良の人生を送ること、また、自立を高めるとともに、福祉の向上に努めることに日々努力しています。多くの知的障がい児者と保護者、家族の方々が参加・入会されています。共に語り合い、共に励まし合い、共に頑張りましょう。また、活動に賛同され、賛助会員、ボランティアとして気軽に参加されることを切望します。</p> <p>○各支部の問合せ先</p> <table border="0"> <tr> <td>飯塚支部 支部長</td> <td>金光 慶子(0948-24-0104)</td> </tr> <tr> <td>穂波支部 支部長</td> <td>野口 昭子(080-5287-2148)</td> </tr> <tr> <td>庄内支部 支部長(会長)</td> <td>藤原 克美(090-7837-0884)</td> </tr> <tr> <td>筑穂支部 支部長</td> <td>山上 あけみ(090-1367-1604)</td> </tr> <tr> <td>穎田支部 支部長</td> <td>許斐 富子(090-7392-8471)</td> </tr> </table> <p>○活動内容：知的障がい児者の自立を目指したレクリエーション活動、講習会、勉強会、親子研修旅行(ボランティアとのふれあい交流、集団マナー及び食育教室)、社会参加を目的とした研修会(全国、九州、福岡県大会)</p> <p>○定例会：定期総会(年に1回、5月開催)、定期役員会(年5～6回開催)</p> <p>○年会費：3,000円</p>	飯塚支部 支部長	金光 慶子(0948-24-0104)	穂波支部 支部長	野口 昭子(080-5287-2148)	庄内支部 支部長(会長)	藤原 克美(090-7837-0884)	筑穂支部 支部長	山上 あけみ(090-1367-1604)	穎田支部 支部長	許斐 富子(090-7392-8471)
飯塚支部 支部長	金光 慶子(0948-24-0104)										
穂波支部 支部長	野口 昭子(080-5287-2148)										
庄内支部 支部長(会長)	藤原 克美(090-7837-0884)										
筑穂支部 支部長	山上 あけみ(090-1367-1604)										
穎田支部 支部長	許斐 富子(090-7392-8471)										
<b>問い合わせ</b>	<p>▶代表者名：藤原 克美(ふじわら かつみ)                  ▶電話番号：090-7837-0884 ▶fax 番号：0948-82-1787                  ▶E-mail：spcm3nf9@grace.ocn.ne.jp                  ▶ホームページ：https://ikuseiizuka.web.fc2.com/</p>										

## トロッコの会

<b>対象者</b>	障がい児・者の家族
<b>活動内容</b>	<p>トロッコの会」は、嘉麻市山田地区の障がい児の家族の集まりとして始まりまし。嘉麻市を中心に8家族で活動していますが、飯塚市の方の参加も可能です。トロッコの会では「喫茶トロッコ」の営業も行っています。ぜひいらしてください。</p> <p>○活動内容 親子活動など                  ○喫茶「トロッコ」                  場 所：嘉麻市立山田図書館内                  営業時間：毎週金曜・土曜 午前11時～午後3時</p>
<b>問い合わせ</b>	<p>▶代表者名：古賀 稲子(こが いねこ)                  ▶☎ &amp; fax：0948-53-3337</p>

## 話し合いサークル「スイーツ飯塚」

対象者	18歳以上の知的障害者で自分たちらしく生きていくための話し合いや活動をしていきたい方
活動内容	飯塚市や嘉麻市に住む20歳代～40歳代中心に、『話し合い』や『レクレーション』をして仕事や生活の悩みや障害者の問題について意見を出しています。また自分たちで話し合い、自分たちのことは決めていこうとする知的障害の大会『ピープルファースト大会』に参加して、全国の仲間たちともつながりを持っています。 ○開催日時 原則として第4日曜日 ○開催時間 9時～12時 ○開催場所 主にサン・アビリティーズいづか
問い合わせ	▶連絡先 金子 正歩(かねこ まさほ) ▶☎&FAX 0948-28-3607

## 日本ダウン症協会(JDS)・福岡支部

対象者	ダウン症のお子さんや大人、その家族 活動に賛同していただける方や団体
活動内容	日本ダウン症協会(JDS)は、ダウン症の子どもや大人、その家族で作る組織です。全国に約5,200人の会員がいます。福岡支部では、福岡県内を中心に活動(会員相互の研修、親睦会、見学会、講演会等)しています。入会された方には、毎月、JDSニュース(会報冊子 全国版)と福岡版ニュースをお送りします。また、各種イベントの参加案内などもしています。 ○会費：会員会費 年額 10,000円 (ひとり親家庭 5,000円) 賛助会員会費：個人・年額 5,000円 団体・年額 10,000円 また、協会では、進学・就労・療育・生活指導などの各種相談を受けています。未入会の方でも相談できます。特に、新生児のご両親などはベテランの相談員に相談してみませんか?入会するか悩まれている方、入会前に試しに一度だけ懇親会等の見学が可能です。個人の情報は、厳守いたします。気軽にご連絡ください。
問い合わせ	▶連絡先(事務局) ☎ 090-2085-9590 E-mail: jdsfukuoka@yahoo.co.jp ▶ホームページ <a href="https://jdsfukuoka.jimdofree.com/">https://jdsfukuoka.jimdofree.com/</a> 問合せ・入会をご希望される方は、直接事務局へご連絡ください。

## プラダー・ウィリー症候群児・者親の会「竹の子の会」九州支部

対象者	九州圏内在住のプラダー・ウィリー症候群児・者およびその家族
活動内容	プラダー・ウィリー症候群は、15番目の染色体異常による病気です。1万～1万5,000人に一人の確率で発症すると言われています。新生児期の筋緊張低下および哺乳障がい、幼児期からの過食と肥満、発達遅延、低身長、性腺機能不全などの特徴があります。成人してからは、さまざまな課題が現れます。九州支部は、沖縄から福岡まで現在40近くの家族が参加しています。年1回家族で集まって宿泊交流会をしています。赤ちゃんから成人まで、さまざまな年代の患児がいます。年2回会報を本部より発行。子育てガイドブックや2022年には、成人の親たちによる『母親たちの記録集2』を発行しました。
問い合わせ	▶代表者名 渡邊(わたなべ) ▶連絡先 ☎ 090-2505-7224 E-mail saki-w@mba.nifty.com ▶ホームページ <a href="http://pwstakenoko.org">http://pwstakenoko.org</a>

## 音楽やスポーツなどサークル的な活動をしているグループ

## Twinkle・cats (トゥインクル・キャッツ)

対象者	障がいのある方 音楽が好きな方や興味のある方
活動内容	Twinkle・cats(トゥインクル・キャッツ)は、障がい児・者のためのミュージックサークルです。社会参加として観客の前で発表することを目標に、日々練習をしています。観客の皆さんの前に出てたくさん拍手をいただきながら、子どもたちは少しずつ成長しています。本人の特性にあわせて、個別で指導をおこなっています。練習場所は、嘉麻市ですが市外の方も、ぜひ一緒に楽しみましょう。 ○練習回数：1、2週間に1回 ○活動内容：毎年8月「心のバリアフリー 愛いっぱいコンサート」(イヅココスモスモモンで開催)、地域のイベント、保育所や老人ホームでの演奏、チャリティーコンサートなど
問い合わせ	▶代表者名：古賀(こが) ☎ 090-3605-7376

## ドリームキッズ

対象者	障がいのある子ども
活動内容	ドリームキッズは、障がいのある子どもとその家族のバスケットボールのチームです。仲間やボランティアさんと楽しく練習しています。 ○会 場：サン・アビリティーズいづか(飯塚市柏の森 956-4) ○日 時：毎週木曜日 午後6時30分～8時 ※ ボランティアさんを募集中です。
問い合わせ	▶代表者名：甲斐(かい) ▶電話番号：080-5202-3826

公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・福岡アルペンスキープログラム

<b>対象者</b>	知的障がいのある6歳以上の方
<b>活動内容</b>	<p>スペシャルオリンピックス(SO)は、年間を通じたさまざまなオリンピック形式のスポーツのトレーニングと競技会を、知的障害のある人たちに提供しています。プログラムに参加することで、体力・技術・友情を培い、他のアスリートや家族、地域の人々と共に社会参加をしていくことを応援している国際的なスポーツ組織です。</p> <p>○会場 サンビレッジ茜 人工芝スキー場 (飯塚市山口 845-38)                  ○日時 日曜日(月2~3回) 午前10時~12時(SO行事により変更もあり)                  ○種目 アルペンスキー</p> <p>アルペンスキープログラムは現在、アスリート・コーチを募集しています。通常のトレーニングの他にも、夏の合宿や、冬に雪上(広島)での合宿等も行い、コーチ・ファミリー・アスリート皆で楽しく練習しています。さらに、スキー以外にも楽しいイベントを行っています。一度見学に来ませんか? お待ちしています。</p>
<b>問い合わせ</b>	<p>▶代表者名: スペシャルオリンピックス日本・福岡事務局                  ▶住所: 福岡市博多区博多駅南 1-5-12 サンネットビル4階                  ▶電話番号: 092-260-9273 ▶E-mail: fukuoka@son.or.jp                  ▶ホームページ: <a href="http://www.son-fukuoka.gr.jp/">http://www.son-fukuoka.gr.jp/</a></p>

筑豊地区障がい者スポーツ指導員・奥村組

<b>対象者</b>	障がいのあるお子さん、または当事者で障がい者スポーツに興味がある方、体験やお手伝い(ボランティア)を希望する方、一緒に楽しみたい方
<b>活動内容</b>	<p>「筑豊地区障がい者スポーツ指導員・奥村組」は、「日本障がい者スポーツ指導者協議会」障害者スポーツ指導者、日本体育協会等各競技の資格を持った方々・競技者の方々が中心となり活動しています。奥村組の仲間は、施設職員・行政職員・特別支援学校教員・ヘルパー・看護師・一般社会人等さまざまな職種の方です。「誰もが出来るスポーツと一緒に楽しみたい」と集まっています。またスポーツを通して地域へ参加が出来るようにとお手伝いをしているボランティア仲間です。</p> <p>○現在、主に活動中のスポーツ教室(クラブ)紹介                  1. バスケットボール教室 / クラブ: ドリームキッズ(詳細はp.60 参照のこと)                  2. その他: 年・数回障がい者スポーツの体験教室(4~5種類)                  ふうせんバレー教室、フライングディスク</p> <p>主な、活動の場は、飯塚市・筑豊・北九州・福岡市・福岡県・九州・全国です。これからも、飯塚市を中心に各競技の活動を広げていきます。</p>
<b>問い合わせ</b>	▶代表者名: 奥村(おくむら) ☎ 090-7986-3061

ボウリング教室

<b>対象者</b>	障がいのあるお子さん、または当事者の方
<b>活動内容</b>	<p>障がいのある方たちのためのボウリング教室です。                  日 時: 原則、毎週土曜日                  会 場: 麻生塾ボウル(飯塚市柏の森 6-1)</p>
<b>問い合わせ</b>	▶代表者名: 藤原(ふじわら) ☎ 090-7837-0884

先輩ママからのメッセージ

14歳 男子  
 自閉スペクトラム症  
 注意欠如・多動症

『親だけ気付く違和感を相談できる安心感』

特別支援学級情緒クラス ASD、ADHD の中二男子の母です。  
 彼は保育所から毎日泣いて帰っており、そのことを先生に相談しても「大丈夫」、小学校に入学して集団行動が苦手な事を相談しても「大丈夫」と言われていたのですが、いろんなことが気になり、かかりつけの小児科の先生に相談し、療育センターの受診がはじまりました。  
 心理の先生から・正義感が強く0か100で判断してしまうこと・怒りのコントロールが苦手なことなどを詳しく説明していただきました。  
 3年生になり集団生活が難しくなり担任の先生やコーディネーター担当の先生と本人の困り感をもとに支援級の利用を話し合い、4年生から支援学級の利用が始まりました。その際も親では説明しきれない集団生活でのやり取りの難しさや困り感を療育センターの先生から手紙などで説明していただき、支援級の先生と親とが同じ理解のもと特性を理解し、何が必要かを共有することができました。  
 学校では先生方が忙しい中にもかかわらず学校での様子の共有、トラブルの振り返りやスケジュールの提示、本人との話し合いの時間を取って下さり、息子の弱いところや親である私の支援もしてくださいました。  
 中学に入ってもその支援は、本人の成長に合うものに工夫して続けて下さっています。そんな中で彼との話で小学校の時の支援級での低学年の子たちの様子を思い出して、「俺もあんなに、言うことを聞かんやったんやね。先生もたいへんやったろうね。」と自分のことを振り返っていました。  
 彼がこんな振り返りが出来るようになり、穏やかに過ごせる時間が増えたのも安心して相談できる支援者の方々が情報共有をして下さり同じ方向性で支援して下さったからだと感謝しております。



## 12才 男子 脳性麻痺、医療ケア児

### 『ともに』

「まさか私が・・・障害児をもつお母さん方の中でよく聞く言葉です。私もその1人でした。

出産当日まで異常もなかったのが健康で元気な子を産んだと思っていました。たくさんのチューブにつながれた我が子を初めて見た時は愛おしさと不安と信じがたい気持ちで色々な思いでいました。

すぐに医療行為の勉強が始まりました。その時相談員、保健師、リハビリ師、訪問看護師の方々が「私達も一緒に勉強させてください」と私以上にメモをとり時間を過ごさせていただいた事はとても心強かったです。

息子は私の戸惑い、不安、嫌な所もたくさん見てきたと思います。全介助で肉体的、精神的にもしんどい時もありますが息子の笑顔を見ると愛おしくてたまらないです。

素敵なママじゃなくてごめんねと思う日々もありますが、こんな私にでも息子は後追いをし何かを訴えかけてくれます。

私が笑うと笑い返してくれます。これ以上の幸せはありません。

療育やデイサービス等利用し息子が繋いでくれたご縁でたくさんの友人もできました。

成長過程はゆっくりな息子ですが日々携わってくれてる方やサポートしてくれる方のお陰で息子と私は笑い合って生きていけます。

## 11歳・女の子 脳性麻痺 重症心身障害児

### 『奇跡の子と呼ばれた娘』

我が家には小学五年生になる重症心身障害児にあたる脳性麻痺(次女)の娘がいます。

妊娠7ヶ月の時、急に破水しかかりつけの産婦人科へ行くと、常位体盤早期剥離と説明され、救急でNICUのある大きな病院へ運ばれました。後から聞いた話では、遅れていたら私(母親)も亡くなっていたほど深刻な状況だったそうです。

「生きていることが奇跡」と言われた娘は「寝たきりになるかもしれない。」と医者から告げられました。当時はショックのあまり記憶も途切れており、立ち直れないほど真っ暗な状態だったのを覚えています。

ですが、お医者さんや看護師、理学療法士、相談支援員などたくさんの方々の支えとサポートにより、徐々に「今、私が娘にしてあげられる精一杯のことをしよう」と前向きに考えられるようになっていきました。生後半年からリハビリ訓練、1歳半からは親子通園と、とにかく必死に続けていきました。

「寝たきりになるかも」と言われた娘でしたが、3歳を過ぎてからは少しずつですが歩行が出来るまでになりました。今でも言葉は出ず意思疎通が難しいところではありますが、娘は毎日元気に支援学校へ行き、帰りは放課後等デイで過ごさせていただき、たくさんの方の愛に包まれて、幸せそうに笑って過ごしています。

出産当時は大変な思いも辛い事も数えきれない程たくさんありましたが、一つひとつゆっくと壁と一緒に乗り越えてきました。

今では障がいも含め、娘の全てを受け入れられるようになり、心から「産まれて来てくれてありがとう」と日々感謝の気持ちでいっぱいです。また娘を支えてくださる方々、娘が繋いでくれたご縁にも本当に感謝しております。

まだまだ不安ももちろんありますが、周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも焦らずゆっくり、娘と一緒に成長していこうと思います。